

愛・地球博用双方向対話ソフトウェア

グリッド・コンピューティング技術を利用したコミュニケーション・ツール

ウタゴエ株式会社【代表取締役社長 園田智也（東京都港区）】は独立行政法人 産業技術総合研究所【理事長 吉川 弘之】（以下「産総研」という）グリッド研究センター【センター長 関口 智嗣】より委託され愛・地球博に対し、遠隔地の利用者間でコミュニケーションを行うことができる双方向対話システムを提供しております。本システムは、愛・地球博市民参加プロジェクトのグローバルダイアログにおいて、市民パビリオン（瀬戸会場）と世界中の複数地点を結んで行われる様々なイベントに使用されます。

このシステムは Access Grid の改良により開発されました。ネットワークに接続された多数の拠点に映像や音声のデータを一度に配信できるので、複数の空間をインタラクティブに結ぶことができるようになります。このため様々な場所の端末のカメラを通して、離れた場所の映像を一覧しながら、そこにいる人たちとコミュニケーションがとれるようになります。



（イメージ：画面は万博会場で使用されるものです。）

遠隔地間でのコミュニケーションを行うシステムとしては従来、専用機を用いるタイプ、汎用 PC を用いるタイプがありました。

しかし、専用機を用いるタイプは大掛かりな設備を使用するため高価である一方、汎用 PC を利用するタイプでは参加できる機器の数が少なく大規模な利用には向かないなど、実際の利用には様々な制限があります。

このシステムでは汎用の PC やルータを利用するにもかかわらず参加者を無制限に追加することができるようになります（利用者の通信回線の状況に依存し

ます）優れた機能性と高いコストパフォーマンスを両立しています。

特別な装置や映像配信サーバーなどを必要とせずに、大規模なビデオ会議からテレビ電話的な利用、カスタマーサービスなど人と人を結ぶツールとして、あるいは防犯カメラや店舗の様子確認など、幅広い用途にお使いいただけます。

なお、このシステムはカフェ・カンパニー株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 楠本修二郎）が既に導入しており、同社が運営する主要なカフェ（東京都港区 CAFE246・渋谷区 Q-FRONT 内 WIRED CAFE 等）において運用が開始されています。今後、顧客同士のコミュニティ形成以外にも、店舗間のミーティングなど、通信インフラとして利用される予定です。

ウタゴエ社では、このコミュニケーション・ツールが、PC にソフトをインストールし、カメラ・インターネット環境があればすぐに使用できるという特性を活かし、一般の方々に広く、早期に普及し得る、簡単で安価なツールとして商品化する予定です。

以上

本件に関するお問い合わせ

ウタゴエ株式会社 宛 (03-3746-5388)

ウタゴエ株式会社 Web サイト <http://www.utagoie.com/>